



# すずらん

天理市立福住小学校

第3号 令和元年6月19日

文責 神元 聡

たのもしく ただしく たくましく

## ◎【人を守る】



『時を守る』ために「気づく」ということを子どもたちに呼びかけていることは、前号でお知らせしたとおりです。『時を守る』ためにいろいろ「気づく」ことができるようになると『人を守ることもできるのでは』と先日、子どもたちに問題提起しました。背が高い人、低い人、走るのが速い人、遅い人、勉強が得意な人、苦手な人、日本語以外で会話する人、肌が黒い人・・・世の中にはいろんな人がいます。このグローバルな社会を生き抜いていく子どもたちには、「違いを豊かさにできる」人間になってほしいと願っています。

## ◎ 専門性の高い講師の招聘



専門的な知識をもった講師によるお話は、子どもたちの知的好奇心を著しくかき立てます。本校でも、中田大貴（奈良女子大学准教授）先生にお越しいただいた「走り方教室」、西田晴紀氏（コウキ商事）による鍵盤ハーモニカ授業、福住中学校体育科教諭によるスポーツ教室、ALTや英語専科による外国語活動など、今後も専門性の高いゲストティーチャーを積極的に活用して充実した教育活動を実施していこうと考えています。

## 福住小・中学校合同学校保健委員会

11日の参観後、なら情報セキュリティ総合研究所研究員の中野徹氏をお招きし、「メディアと子どものつきあい方」という演題で、小中合同学校保健委員会を開催させていただきました。子どもたちの心と身体を守るための留意点として、①「便利なものには危険があること」②「情報発信の怖さを知り個人情報をしっかり守ること」③「マナーとルールは家族で考えなければならないこと」の3つのことを示唆してくださいました。最後に「子どもたちを守る最後の砦は、ご家族です。ならぬものはならぬ！という強い覚悟をもって子どもたちを守ってほしい。」と締めくくられました。今後も「メディアと子どものつきあい方」を学校と家庭で密接に連携して見守っていく必要性を再認識した講演でした。



お知らせ  
福住小学校のホームページでは、最新行事予定表のほか、子どもたちの活動の様子を、毎日更新しています。ぜひ、ご覧ください。

## 園小中の連携

福住校区では、2年前より園小中で教育目標を統一し、15年間を見通した教育を目指して連携を深めてきました。こども園の4・5歳児と1・2年の交流学習では、日頃、高学年に頼りきりの児童が、この日ばかりは立派なお兄（姉）ちゃん。また、プール掃除では中学生と一緒に力を合わせ、短時間でぴっぴかにしてくれました。先日は、中学校へ進学した子どもたちの様子を伺いに本校教諭が福中へ参観に行きました。

